



小泉夫妻

**元会長の小泉清隆 氏
旭日小綬章 受章**

「春の叙勲」が令和7年4月29日付で内閣府から発令され、神奈川県森林組合連合会の元会長で小田原市森林組合長の小泉清隆様が旭日小綬章を受章されました。

小泉様は、若い頃から家業の林業と農業を引き継ぎ、長きにわたって、地元小田原の農林業の発展に寄与しただけでなく、平成22年に小田原市森林組合代表理事組合長、平成29年には神奈川県森林組合連合会代表理事会長に就任しています。これまで小田原市森林組合の役員を34年間、神奈川県森林組合連合会の役員を16年間の長きにわたり務め、神奈川県の林業の発展に大きく貢献されました。

今回の叙勲はこれらのことと高く評価されたものです。

卒寿を迎えた今も現役で小田原市森林組合代表理事組合長と農業に従事されており、今後も神奈川県の林業の発展にご尽力いただきますとともに、我々のご指導をお願いしたいと思います。

小田原市森林組合、佐藤様は、木材の販売力強化、木育活動に注力されています。詳細は6頁組合探訪で紹介いたします。

秦野市森林組合の山崎健太様は、平成31年に入会され、伐採現場に限り組んでいる製材や薪の製造にも従事されています。

小田原市森林組合、佐藤様は、木材の販売力強化、木育活動に注力されています。詳細は6頁組合探訪で紹介いたします。

**森林吸収系J-クレジット
がプロジェクト登録**



杉山千秋氏

事され、マルチな活躍をされています。

受彰おめでとうございます。一層



建築業界はコロナ禍より新築需要の縮小、資材価格の高騰などの影響を受け冷え込みが続いておりますが、公共施設などの非住宅の建築、リフォーム需要の増加等の明るい兆しも見えしております。供給を滞らせぬよう集荷に努めていきたいです。合板やチップ材、土木資材においては順調に販売しております。

今後活発な搬出が予定されており、入材が立て込む時期でもあります。高値販売を目指し、仕分けから販売まで円滑に進めるとともに少しでも山元へ還元できるよう努力してまいりますので出荷者の皆様からの出材をお待ちしております。

また、年度内の共販の取扱い最終荷受け日は、令和8年2月20日となつておりますので併せてよろしくお願いします。

令和7年度の林業センターでの第1四半期の入荷状況は、4月1868m³、5月825m³、6月1287m³でした。第2四半期は7月1353m³、8月932m³、9月1648m³と上半期全般としては半年をやや上回る取扱量となりました。入材の内訳は、虫害材や低質材が多く、建築用材の販売量がまとまらず苦慮しております。

建築業界はコロナ禍より新築需要の縮小、資材価格の高騰などの影響を受け冷え込みが続いておりますが、公共施設などの非住宅の建築、リフォーム需要の増加等の明るい兆しも見えております。供給を滞らせぬよう集荷に努めていきたいです。合板やチップ材、土木資材においては順調に販売しております。

今後活発な搬出が予定されており、入材が立て込む時期でもあります。高値販売を目指し、仕分けから販売まで円滑に進めるとともに少しでも山元へ還元できるよう努力してまいりますので出荷者の皆様からの出材をお待ちしております。

また、年度内の共販の取扱い最終荷受け日は、令和8年2月20日となつておりますので併せてよろしくお願いします。

県森連林業センター 木材市況

(単位:円)

樹種	長さ m	末口径 cm	価格 1m ³ 当り			気配	摘要
			高値	中値	安値		
す	3.0	14		10,000	9,000	○	柱目3.5寸
		16~18		11,000	10,000	○	// 4寸
		20~	18,000	13,000	10,000	○	中目
	4.0	11~13		10,000	10,000	○	母屋取り
		14		11,000	10,000	○	桁目3.5寸
		16~18	14,200	12,000	11,000	○	// 4寸
ひのき	6.0	20~22	15,000	13,000	11,000	○	中目
		24~28	18,000	13,000	11,000	△	//
		30~	18,000	13,000	11,000	○	//
	2.0	16~18					元玉選木
		20~22	25,000				通し柱4寸
		26~		10,000	8,000	○	元玉
ひのき	3.0	14	19,000	16,000	15,000	○	柱目3.5寸
		16~18	23,000	20,000	18,000	○	// 4寸
		20~22	23,000	20,000	18,000	○	中目
	4.0	24~28	24,000	21,000	18,000	○	//
		30~	25,000	22,000	18,000	○	
		11~13		12,000	10,000	○	母屋取り
ひのき	6.0	14	19,000	16,000	15,000	○	土台目3.5寸
		16~18	23,300	19,000	18,000	○	// 4寸
		20~22	23,300	19,000	18,000	○	中目
	2.0	24~28	30,100	20,000	19,000	○	//
		30~	25,000	22,000	20,000	△	//
		11~13		12,000	10,000	○	元玉選木
ひのき	16~18		28,000			—	通し柱4寸
	20~22		25,000			—	// 5寸

注) 売上総数量 1,570,309 m³

△ 強気配 ○ 保合 ▼ 弱気配

木材共販市況

森林組合で勤務して3年目ですが、今年職員に採用されました。主に森林整備や森林調査の業務管理を担当しており、現場での作業計画の立案や進捗管理、安全管理などに携わっています。また、将来の健全な森林づくりを目指し、苗木の生産にも力を入れて取り組んでいます。日々、自然と向き合いながら、地域の森林資源を次世代へと引き継ぐ仕事をやりがいを感じています。

これからも地域の自然環境と共存しながら、次世代に誇れる森林づくりを目指して努力していきたいと思います。よろしくお願ひ致します。

4月より県森連の総務指導課に方
りました、中村みの莉と申します。
大学では、林業とは遠い分野を学
んでおりましたが、野外活動の盛ん
な幼稚舎で過ごしたことから森林に
対して深い愛着があり、生まれ育つ
た神奈川県の森林環境に貢献できる
本会に入会いたしました。

現在は、林退共や保険、研修の補
助を担当し、温かい環境で日々ご指
導をいただきております。至らない
点も多いかと思いますが、少しでも
早く戦力になれるよう精進して参り
ますので、よろしくお願ひいたしま

このたび神奈川県森林組合連合会の職員として働くことになりました。現在の課題として感じているのは、体力面と樹種に関する知識です。体力面では、特に斜面を登る際に先輩方のペースについていくことがまだ難しく感じています。樹種に関しては、特に広葉樹の知識が調査成果の正確性にも関わるため、より多くの種類を覚える必要性を日々実感しています。

こうした課題を克服するため、ジムに通つて身体能力を鍛えること、道中で判別できなかつた広葉樹を帰つて調べることなどを実践しながら、体力と知識の両面を強化しています。

4月より神奈川県森連の生産販売課に技師として採用されました加藤和真と申します。私は吉田島高校出身で、主に測量や設計について学んできました。「森林経営」という授業を通して林業について学ぶとともに、県森連の活動についても知る機会がありました。林業を学ぶうちに少しずつ自然と関わる仕事に興味を持ち、先生からの勧めもあって入会いたしました。現在は木材販売を主に担当しています。まだまだ分からぬこともあります。まだ多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、一日でも早く仕事を覚え、貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひします。



NEW FACE

などから、J-クレジットの創出に取り組むこととしました。

プロジェクトの概要

プロジェクトの名称は、「かながわの森を育む脱炭素プロジェクト」

箱根・湯河原編

実施地は、箱根町の芦ノ湖周辺に位置する148.78haのスギ・ヒノキ林で、林齢は70～100年生が主体です。

森林経営活動FO0001で16年間のプロジェクト登録を行いました。

クレジット創出量は、現在、森林

プロジェクトの概要

プロジェクトの名称は、「かながわの森を育む脱炭素プロジェクト」

森林経営活動FO0001で16年間のプロジェクト登録を行いました。クレジット創出量は、現在、森林ノキ林で、林齢は70～100年生が主です。実施地は、箱根町の芦ノ湖周辺に位置する148・78haのスギ・ヒ

取り組むこととしま

プロジェクトの概要
プロジェクトの名称は、「かなが
わの森を育む脱炭素プロジェクト」
箱根・湯河原編」

実施地は、箱根町の芦ノ湖周辺に
位置する148.78haのスギ・ヒ
ノキ林で、林齢は70～100年生が
主体です。

森林経営活動FO0001で16年間
のプロジェクト登録を行いました。
クレジット創出量は、現在、森林

クレジットの販売について

複数の方々から購入に関するお問い合わせをいただいていますが、確定的ではないので、今後クレジット販売に向けた営業を強化していく予定です。

Ｊ－クレジットの創出・購入に関する方へ

県森連はＪ－クレジットの普及に向けて支援等の取り組みを強化していくきます。Ｊ－クレジットの創出・購入に関するご相談は、総務指導課までご連絡ください。

のある方へ

県森連はJ-クレジットの普及に向けて支援等の取り組みを強化していくきます。J-クレジットの創出・購入に関するご相談は、総務指導課までご連絡ください。

A young person with long hair, wearing an orange helmet and a light blue jacket, is holding a camera and taking a photo of a large tree trunk in a forest setting. The background is filled with green trees and sunlight filtering through the leaves.



才覚なども多いですか
成長していきたいと思います。皆さ
ま、どうぞよろしくお願ひ致します。



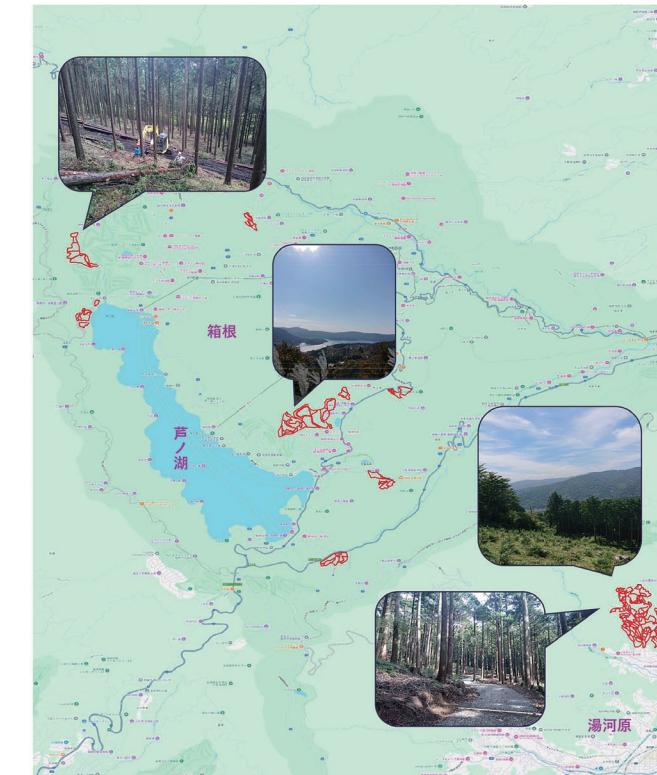
神奈川県森林組合連合会の 森林吸収系J-クレジットが プロジェクト登録

県森連では、管理森林の新たな価値を生み出すため、令和5年度から、J-クレジットの導入に向けた検討を開始しました。

経営計画のデータをベースに16年間で5,394tとしています。今後、モニタリング、検証を経て正確な数值を算定しますが、全面積の航空レザーメasurementのデータを解析し算定すると8,959tとなる見込みです。

プロジェクトの概要
がわの森を育む脱炭素プロジェクト ~ 箱根・湯河原 編 ~

プロジェクト実施者：神奈川県森林組合連合会
実施地：神奈川県足柄下郡箱根町、湯河原町
箱根町 仙石原・畠宿・芦之湯・箱根・元箱根
湯河原町 吉浜
神奈川県の水源環境保全・再生施策の水源林事業で集約した企業4社の森林で実施
1年生から110年生のスギ・ヒノキ林 14.8. 78ha
実施期間：令和7年4月1日から令和23年3月31日（16年間）
CO2吸収量：実施期間16年間を通じて5,394～8,959t
妥当性確認のために森林經營計画をベースに算定：5,394t
全面積航空レーザー測量のデータを解析し算定：8,959t
■令和7年9月30日第66回認証委員会で審議



お問い合わせ先 神奈川県森林組合連合会
TEL 0463-73-8940
総務指導課 FAX 0463-73-5297
Email pm@kenmorigen.jp

次期水源施策に向けた 系統間連携に係る検討会

検討会起ち上げの趣旨

かながわ水源環境保全・再生施策大綱は令和8年度末で終了し、令和9年度からは新たな水源施策が始まることであります。

森林組合系は協同組合としての機能のみならず、公共的性格を持つ団体であり、かながわの森林づくりを支える主体としてこれまで森林の保全、再生に貢献してきた経験を踏まえ、令和9年度からの次期水源施策に対しても系統として責任をもつて着実に対応していくという趣旨のもと、森林組合が一丸となって連携し、効果的な実行体制を構築するための話し合いの場として、「次期水源施策に向けた系統間連携に係る検討会」を起ち上げました。

組合長会議の承認を受けて、次の計画で実施することとしました。
①メンバーは、常勤役員や参事級職員等
②実施回数は、年に2～3回程度(年
に1回森林組合の組合長へ情報を
共有)

検討会の概要

組合長会議の承認を受けて、次の計画で実施することとしました。

①メンバーは、常勤役員や参事級職員等
②実施回数は、年に2～3回程度(年
に1回森林組合の組合長へ情報を
共有)



2025年かながわ協同組合のつどい県森連ブース

2025年 かながわ協同組合のつどい

協同組合の組合員や役職員は、協同組合同士の連携や地域における多様な主体との協力の意義について「理解」を深め、事業や活動を通じたつながりを「実践」し、広く県民に協同の必要性を「発信」していくことが求められています。

こうしたなかで、かながわCOCOネットは「2025年かながわ協同組合のつどい」を国際協同組合年イベントと位置づけ、この年を契機に会員組織の組合員、役職員、地域にくらす人々が協同組合の意義や役割を再認識するとともに、地域課題の解決に向けてCOCOネット会員組織間およびさまざまな組織と連携の取り組みをより進めることを目的として開催しました。

・開催日・令和7年10月6日(月)
・開催場所・横浜市開港記念会館

第1部 基調講演・事例報告

(1)事例報告

2025年協同組合年およびかな

がわCOCOネットの概要について
市民活動と協同組合の連携事例
組織間の連携事例

（2）主な検討項目は、長期施業受委託契約満了後の対応、主伐・植替えの進め方、系統組織が連携した実行体制のあり方等

第1回検討会は、現状把握と課題の抽出をテーマとし、令和7年7月9日に開催しました。

第1回検討会

県森連から検討会開催の趣旨・目的の説明をし、次の4つについて情報提供、課題提起並びに協力依頼をしました。

②次期水源施策の動向について

県森連、ワーキンググループから

次のことについて情報提供を行いました。

①第1回検討会後の施策動向、組合の対応について

②今後、集積・集約化が必要な森林の対応について

③集積・集約が必要な森林の対応について

④人工林の植替えの対応について

⑤次期水源施策5か年計画に係る事業量算出について

その後、意見交換を行なうことで、情報を共有し、課題を抽出しました。

検討の中で保育に必要な補助額の適正化、作業員の給与等待遇、人材確保といったことが課題として挙げられ、共同作業や機械の共同利用、事業の多角化といった対応策の意見も

ありました。

①人工林の植替え事業の実行量の確保

②ワーキンググループの活動報告

その後、森林組合系の経営安定化にも関わる次の点について意見交換を行いました。

③5か年計画素案を基にした森林組合の収入予測と対応について

④人工林の植替え事業の流れ(想定)について

⑤ワーキンググループの活動報告

その後、森林組合系の経営安定化にも関わる次の点について意見交換を行いました。



次期水源施策に向けた系統間連携に係る第1回検討会

②事業の多角化

③費縮減、効率的かつ効果的な組合体制の構築

森林組合のない箇所を含む市町村への支援、重機やトラックのシェア、総務経理をはじめとした業務統合と掛けなどを研究しました。その結果については、今後県へ提案してまいります。

次回以降も、更に検討、話合いを行ないます。この検討会は次年度以降も続いている意見がありました。

次回以降も、更に検討、話合いを行ないます。

重ね効果的な実行体制を構築するため、この検討会は次年度以降も続いている意見がありました。

総務経理をはじめとした業務統合といった意見がありました。

森林組合のない箇所を含む市町村への支援、重機やトラックのシェア、総務経理をはじめとした業務統合と掛けなどを研究しました。その結果については、今後県へ提案してまいります。

次回以降も、更に検討、話合いを行ないます。

重ね効果的な実行体制を構築するため、この検討会は次年度以降も続いている意見がありました。

森林組合のない箇所を含む市町村への支援、重機やトラックのシェア、総務経理をはじめとした業務統合と掛けなどを研究しました。その結果については、今後県へ提案してまいります。



令和7年度森林組合コンプライアンス研修会